第６講　諸問題編

現代日本の諸課題

1　高齢化とは，若年人口・生産年齢人口に対して65歳以上の老年人口の占める割合が高まることをいう。

2　日本の人口構成は，老年人口の多い少産少死のつぼ型の人口構成をしている。

3　フリーターとはフリーアルバイターの略で，学生と主婦を除く15～34歳の人のうち，基本的に公務員や正社員以外の人（パート・アルバイトとして働く者）及び，パート・アルバイトを希望する無職の人を指す。

4　中小企業の労働生産性が低いのは資本装備率が低いことが主要因である。

5　所得倍増計画は，1980年に池田勇人内閣が発表した。

6　日本の産業就業者人口は，多い順に第三次産業→第二次産業→第一次産業となっている。

7　円安の進行や人件費の高騰により，国内の産業が海外に進出することで，国内産業の一つの部門が抜けてしまうことを「産業の空洞化」という。

8　消費者自身の手による生活協同組合は，北欧諸国から日本に伝わり，初期の消費者運動の中心となった。

9　製造物責任法〔PL法〕とは，一定期間であれば，契約の無条件での解除ができる法律である。

10　四大公害病のうち，イタイイタイ病（富山県神通川下流域）が，有機水銀による汚染により引き起こされた病気である。

11　環境汚染防止費用は汚染者が負担することを環境アセスメントという。

12　インターネットや携帯電話が一般的に利用されるようになり，その情報技術の革新によってもたらされる社会の急激な変化を，IT〔ICT〕革命という。

13　デジタルディバイドとは，メディアを使いこなす読み書き能力の意味である。

14　あらゆるものにコンピュータが組み込まれ，いつでも，どこでも，だれとでもネットワークを通じて情報のやり取りができる社会を，ユビキタス社会という。

15　仮想〔バーチャル〕世界は，現実世界を超えた経験や人とのつながり，新たなビジネスチャンスを生むという意見の一方，現実でのコミュニケーション能力に支障をきたすのではないか，という意見もある。

16　アメリカの歴史学者ブーアスティンは，マスメディアによって製造された「事実」を疑似イベントと呼び，現代社会に氾濫する幻影に気付くことの重要性を訴えた。

17　AI〔人工知能〕やIoT〔モノのインターネット〕という言葉が飛び交う現代は，「第四次産業革命」の時期とされている。

国際社会の諸課題

1　生態系〔エコシステム〕とは，生物どうしが，生産者と消費者と還元者として相互依存する関係をいう。

2　1972年，スウェーデンのストックホルムで開かれた国連人間環境会議では「宇宙船地球号」をスローガンに，人間環境について討議した。

3　冷媒や発泡材などに使用されていたフロンが，オゾン層を破壊することにより，紫外線被害をもたらすとされ，使用禁止の方向となった。

4　地球温暖化とは，二酸化炭素などの温室効果ガスが増大することで起きる地球全体の気温上昇のことをいう。

5　部分的核実験禁止条約〔PTBT，1963年〕では，核実験を地下で行う場合は禁止されない内容となっている。

6　カナダで行われたパグウォッシュ会議（1957年）は，科学者が核兵器を生んだ反省から，今後の課題を話し合う会議であった。

7　1989年の東西冷戦終結後は，民族・宗教・部族などの対立による紛争も終結した。

8　数千万人ともいわれる路上生活をする子どもたちのことを，チャイルドソルジャーという。

9　インドとパキスタンの紛争は，カシミール地方の領有を巡る利害対立に，ヒンドゥー教とイスラームの宗教対立がからんだ紛争である。

10　モノカルチャー経済とは，精密機械だけの単一品，または少数の鉱産物や農産物を生産することをいう。

11　貿易の際，輸出品と輸入品との交換比率を交易条件というが，一次産品の交易条件がもっとも高い。

12　保護貿易が世界大戦の要因の一つとなった反省から，資本主義諸国は，自由・無差別・多国間貿易を原則とするようになった。

13　WTO〔世界貿易機関〕は，1994年に合意され翌年に設立したが，日本は米の関税化に反対しているため，まだ加盟していない。

14　アメリカ経済の国際競争力救済のため，1971年のスミソニアン協定では１ドル＝250円に設定された。

15　日本では「（核兵器を）＝持たず，つくらず，持ち込ませず」＝という非核三原則を田中角栄内閣が表明し，法制化された。

16　1979年のスリーマイル島（アメリカ），1986年のチェルノブイリ（ソ連ウクライナ共和国），2011年の福島（日本）の３度にわたり，深刻な原発トラブルが発生している。

17　日本では原発はすべて停止し，再稼働の目途は立っていない。

強化のための追加問題

1　2018年６月時点で，2020年に東京で２度目の夏季五輪開催が決定しているが，これで冬季を合わせ，日本では３度目の開催となる。

2　常会〔通常国会〕は毎年１回，１月中に召集される国会である。会期は祝祭日を除いた150日であるが，会期中に議員の任期が終わった場合，その日に終了する。なお，会期の延長は１回のみ可能である。

3　日本では，政党が利益集団と密接な関係にあることから，国会に対する陳情活動が中心になるのに対し，アメリカでは，団体の代理人であるロビイストが上級官僚に圧力をかける場合が多い。

4　現代社会においては，エイズが1980年代初期に確認されてから，わずか20年の間に約2000万人，現在まで約3900万人の死亡者を出しており，これからもますます増えていくだろうと予想されている。

5　国際連合には，ILOやWHOなどの15の機関が国連と連携協定を結び，専門機関となっている。そしてこれらの機関は自律的な国際機関であり，国連と従属関係にはない。よって，国連に加盟しなくても，これらの専門機関に加入することは可能である。

6　宇宙空間については，領土請求が禁止され，大量破壊兵器の設置については，国連の許可が必要となっている。

7　子どもの権利条約は，あらゆる20歳未満の児童の基本的人権を国際的に保障するために定められた条約であり，日本も批准している。

8　公的機関が供給する有料道路などの財を純粋公共財という。

9　販売シナジーとは，新規事業に進出するにあたり既存の販売組織やブランドなどを利用することで，コストの削減が行われることをいう。

10　アメリカなど州単位での同性婚は法的に認められているが，日本をはじめ国単位で同性婚を法的に認めている国は存在しない。

11　情報通信技術〔ICT〕は，国民のコミュニケーションの権利保障に役立ち，社会生活におけるさまざまな効用を高める可能性を有している，といえる。

12　日本の総人口は，今後一貫して減少傾向を示すものと予測されている。

13　1973年に採択されたワシントン条約は，絶滅のおそれのある野生生物の国際取引の規制を目的とする条約である。日本では，種の保存法による国内取引の規制が実施されている。

14　富士山はUNICEF〔国連児童基金〕の世界文化遺産に登録されている。

さらなる強化のための追加問題

1　2014年，住民投票によりウクライナ共和国から独立を宣言したのは，ジョージア自治共和国である。

2　2011年の政変までの長期間にわたりエジプトの政権を掌握していたのは，ムバラク大統領である。

3　イスラム国〔IS・ISIL・ISISなど〕は，アルカイダから分派したイスラム過激派組織で，首都をラッカとするイスラム国の樹立を宣言したが，2018年にほぼ壊滅した。

4　「６カ国協議」の６カ国とは，日本・北朝鮮・韓国・中国・ロシア・インドである。

5　2007年に就任した東アジア初の国連事務総長は，韓国の潘基文である。

6　2013年に金融危機を起こした地中海に浮かぶEU加盟国はキプロスで，首都はニコシアである。

7　「VISTA」とは，経済発展の著しいベトナム・インドネシア・南アフリカ・トルコ・アルゼンチンのことである。

8　TPPの４つの原加盟国とは，シンガポール・ブルネイ・ニュージーランド・ペルーである。

9　気候変動枠組条約締約国会議を略して「COP」と呼んでいる。

10　新エネルギーの一種であるメタンハイドレートは，メタンガスと水分子が結合し氷状の結晶となった物質で，低温・高圧の状態である永久凍土の地下や海底下に存在する。

11　2011年３月11日の東日本大震災の本震は，太平洋プレートとユーラシアプレートによるプレート境界型地震であった。

12　原子力発電所の炉心が溶融することをメルトダウンと呼ぶ。

13　企業において，CEOとCOOは後者のほうが地位も高く責任も重いのが一般的である。

14　中国は，2003年に「神舟５号」で有人宇宙飛行に成功している。

15　2018年から２度にわたり行われたアメリカのトランプと北朝鮮の金日成による米朝首脳会談は，史上初のことである。

第６講　解答

現代日本の諸課題

1 ○　2 ○　3 ○　4 ○　5 ×　6 ○　7 ×　8 ○　9 ×

10 ×　11 ×　12 ○　13 ×　14 ○　15 ○　16 ○　17 ○

国際社会の諸課題

1 ○　2 ×　3 ○　4 ○　5 ○　6 ○　7 ×　8 ×　9 ○

10 ×　11 ×　12 ○　13 ×　14 ×　15 ×　16 ○　17 ×

強化のための追加問題

1 ×　2 ×　3 ×　4 ○　5 ○　6 ×　7 ×　8 ×　9 ○

10 ×　11 ○　12 ○　13 ○　14 ×

さらなる強化のための追加問題

1 ×　2 ○　3 ○　4 ×　5 ○　6 ○　7 ○　8 ×　9 ○

10 ○　11 ×　12 ○　13 ×　14 ○　15 ×